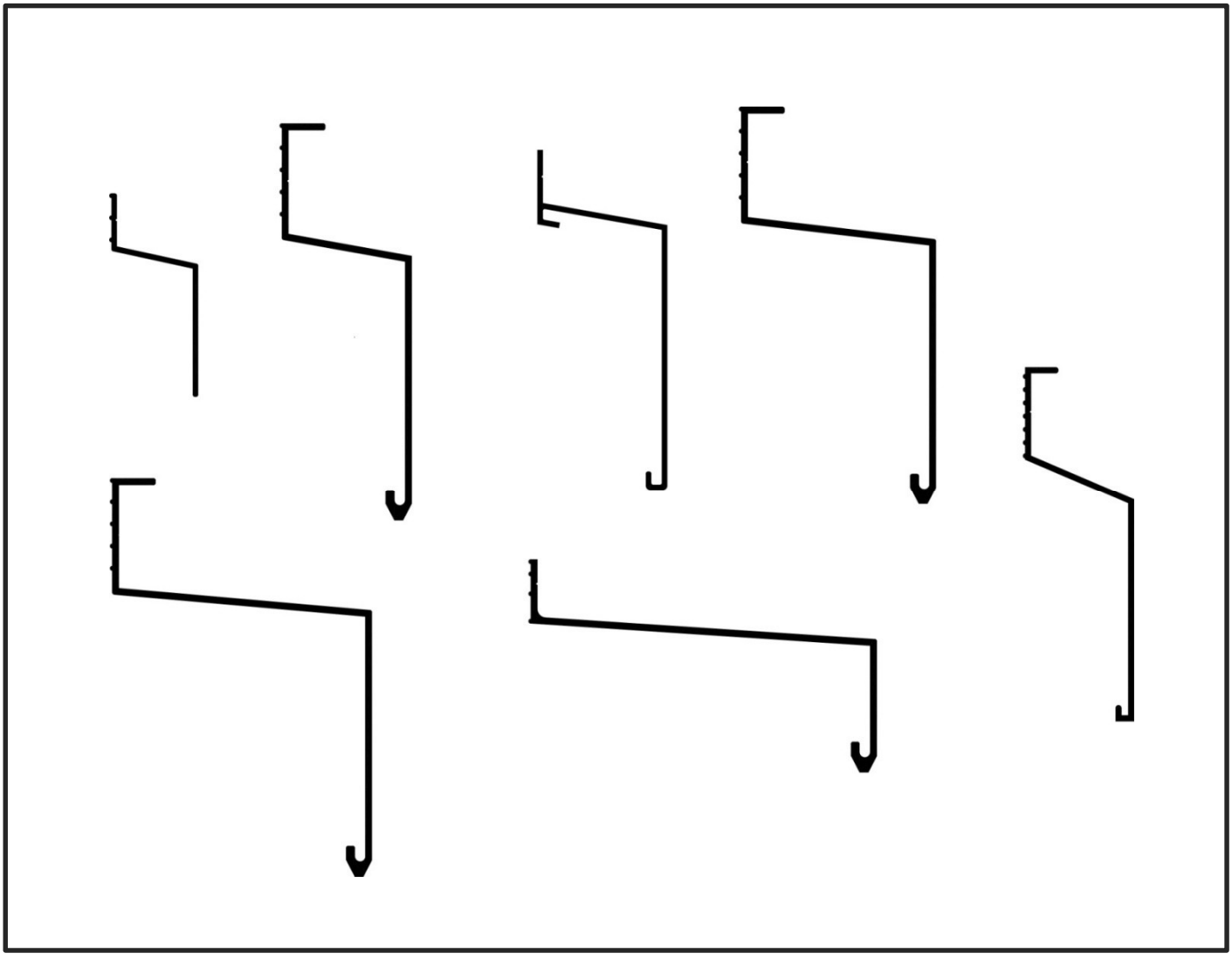
白水興産株式会社

アルミ水切（防水端末保護）
施工手順書

ＯＨシリーズ



目次

水切取付 …… 2頁

事前打ち合わせの注意点 …… 3頁

下地がスチールの時の取付ねじの選定について …… 4頁

安全上のご注意

・商品を安全に施工していただくため、施工前に当施工手順書をよくお読みいただき、不具合のないように正しく施工してください。
・製品をお取り扱いの際、落としたりぶつけたりしないでください。キズやへこみなどの製品損傷や、作業者のケガに至る場合があります。
・施工手順書に記載された以外の施工内容、又は建物の設計・施工に起因する不具合や損害に関して責任は負えません。

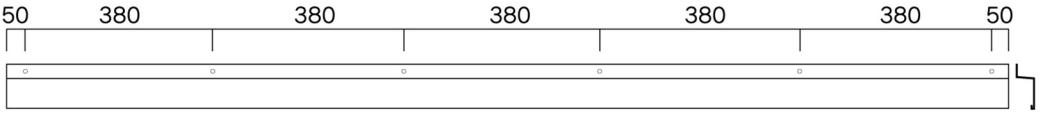
水切取付

取付順	コーナー部より始めてください。
固定方法	・ALC の削孔は穴径が大きくなるため、ハンマードリルを使用しないでください。 ・下穴が大きくなるとアンカー耐力が低下します。 ・ジョイントは熱膨張などの変形を考慮して隙間を 5mm 以上あけてください。

下地材	アンカー（付属品）	材質	プラグ径	プラグ長	下穴
RC	N5-35	SUS/鉄	5	35	5×45
ALC	B-F6	鉄	6	30	6×40

・ねじ類はステンレス製をお勧めします。
・樹脂プラグとねじが一体でないものは、樹脂プラグを下地材に打込んだ後、ねじを締め込んでください。

下穴	下穴の削孔後は清掃を行い、粉を除去してください。
固定間隔	当社の標準仕様：両端 50 ㎜　@380 ㎜　6 穴



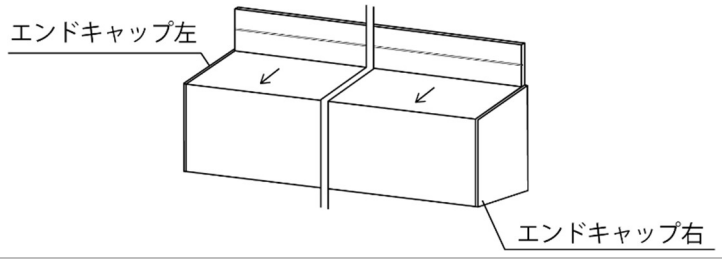
@300～@450 以内の固定間隔表　※()内の寸法は、均等とした場合の実質ピッチ

定尺 L=2000		@300 以内	@350 以内	@400 以内	@450 以内
1 本あたりの穴数	端部 30	8 穴 (@278)	7 穴 (@324)	6 穴 (@388)	6 穴 (@388)
	端部 50	8 穴 (@272)	7 穴 (@317)	6 穴 (@380)	6 穴 (@380)
	端部 100	7 穴 @300	7 穴 (@300)	6 穴 (@360)	5 穴 @450

・固定間隔は現場管理者に確認してください。
　風圧の影響が大きい場合は、強度計算による固定間隔とします

その他

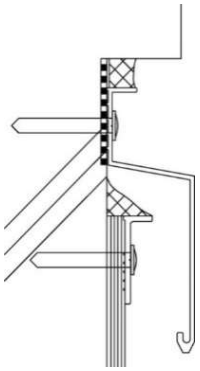
コーナー	コーナー材は、金属専用の接着剤を使用し接着で組み立てます。
エンドキャップ	・製品を取り付ける立ち位置から見た「右」と「左」があります。 ・ビス NB-01（ 4×16 ドリルねじ）で取り付けすることを推奨します。



事前打ち合わせの注意点

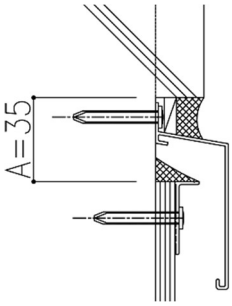
1.水切取付面の調整

・ ■■■■■ で示した水切の取付け面は
平滑に仕上げてあることを確認してください。
・平滑でない場合は現場にてモルタル仕上げを依頼してください。

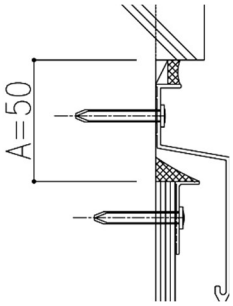


2．防水端部の位置確認

・水切の納まりはＦタイプとＫタイプがある為、
Ａ寸法は水切の形状に合わせてください。
・Ａ寸法が大きくならないように注意してください



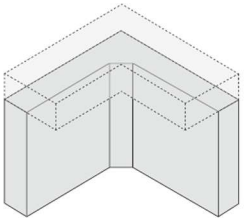
Ｆタイプ
OH-30F（Ａ寸法=35）



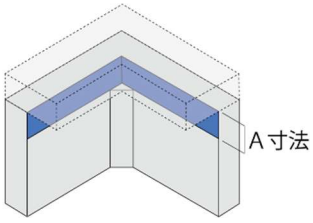
Kタイプ
OH-30K（A寸法=50）

3．面取り位置の確認　※アスファルト防水の場合は必須

・アスファルト防水のコーナー部は面取りされています。
コーナー材取付のため、水切取り付け部を
Ａ寸法分（２参照）確保してもらう必要があります。
事前打ち合わせで確認してください。



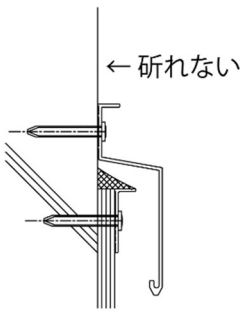
面取りされた躯体

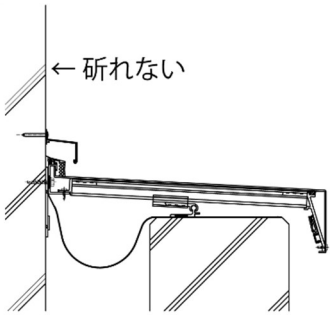


Ａ寸法確保した躯体

4．アゴ（欠込み）がない場合の納まり

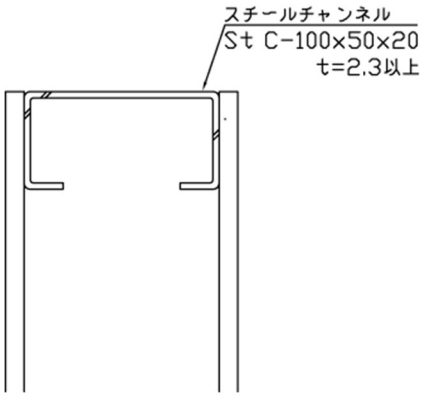
・改修工事等でどうしても振動音や粉塵が出せず、
斫り込みが出来ない部分に水切を取付る場合は、
設計者や施工会社と協議してください。

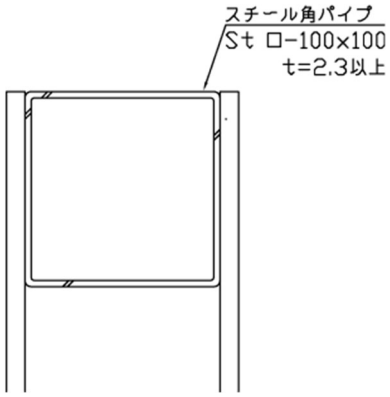




下地がスチールの時の取付ねじの選定について

取付ねじ	・t=6 ㎜スチールアングルに下端笠木、天端笠木を取り付ける場合 NB-19(ヘックス六角ドリルねじ６×３５ユニクロ)を使用する。 ・下地材が 5 ㎜を超える場合、SUS ねじはせん断破裂(頭とび)が起こる可能性があるので、ユニクロ(鉄)ビスを使用する。





スチールチャンネルや角パイプ t=2.3 の場合

取付ねじ	笠木取付の時 ・B-540H　SUS テックスドリルねじ(六角)使用 ・B-535　SUS テックスドリルねじ(なべ)使用